

神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年7月25日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第 29週 平成29年7月17日 ～

平成29年7月23日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ																														

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
R Sウイルス感染症	3		3						4	10		1	5	4										
咽頭結膜熱	2	1			3			3	2	11		1	1	1	3	2	1			1				1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	7			15	1	2	2	12	42			1	4	4	4	5	3	2	2	5	7	3	2
感染性胃腸炎	8	4	4	10	15	11	22	46	16	136		12	22	12	14	11	12	8	4	5	6	14	4	12
水痘	3				5			8		16			1	1	3	3	1	2	2	3				
手足口病	72	9	26	16	56	35	63	126	63	466	2	32	129	94	77	46	39	18	6	2	5	4	1	11
伝染性紅斑									1	1					1									
突発性発疹	6	1		1		1		1	4	14	1	6	5	2										
百日咳																								
ヘルパンギーナ	11	9	3		15	8	19	10	14	89		7	25	15	9	10	12	4	2	3	1	1		
流行性耳下腺炎	2	6			8	2	2	18	1	39		1		1	2	3	7	7	4	5	3	4	2	

今週、環境保健研究所の行った日本紅斑熱の行政検査の結果（陰性）がでました。
日本紅斑熱は、病原体を保有するマダニに刺咬された2～8日後から頭痛、発熱、全身倦怠感を伴って発症し、発熱、発疹、刺し口が主要な三徴候です。
近年、神戸市で毎年1～2例、全国では200例を超える報告があり、マダニの活動が活発になる春～秋は、報告数が多いです。
野外活動時は、肌の露出を少なくし、活動後には、すぐに入浴し、新しい服に着替えましょう。
また、マダニが肌についていた場合は、無理に取り除こうとせず、皮膚科などの医療機関を受診しましょう。

[ダニ媒介感染症 | 厚生労働省](#)

報告定点数 10 ケ所

眼科 設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎	2			1						3															2				1

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ノロウイルス感染症1例:1歳 男
灘 区○咽頭結膜熱および
溶血性レンサ球菌感染症(混合感染) 1例:1歳 女
北 区○アデノウイルス感染症2例:1歳 男、5歳 女
○ノロウイルス感染症1例:1歳 男
垂水区○アデノウイルス感染症2例:3歳 男、5歳 男

【行政検査情報】※行政検査:公衆衛生上、問題となる病原体について市が行う検査

○日本紅斑熱(四類感染症)疑い:22歳 男 検査結果:陰性
山中で何かに刺された数日後、症状が出現した。
症状:左下腿腫脹、発赤、発熱、関節痛、発疹など

【市内の感染症の状況】

今週の手足口病の定点あたり患者数は15.0人です。市内では、
警報レベル(定点あたり5人以上)継続中です。

[手足口病について | 神戸市ホームページ](#)

手足口病 警報レベル期間(第26週～)の病原体別報告数(累積)

コクサッキーウイルスA6型	コクサッキーウイルスA10型	エンテロウイルス71型
18	1	1

【医療機関のみなさまへ】

[重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)について|厚生労働省](#)

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関して、厚生労働省より発症したネコやイヌの体液等からヒトが感染することが否定できないとの報告がありました。医療機関において、疑わしい症状があれば、ダニの刺咬歴に加え、ネコ等の動物との接触歴も確認をお願いします。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。 [神戸市 発生動向【検索】](#) [「ILI」情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2017年7月25日作成

全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2017年7月14日	2017年7月14日	2017年7月21日	O145 (VT2)	便培養法	腹痛、血便	不明	-
女	40代	2017年7月6日頃	2017年7月12日	2017年7月24日	O157 (VT1VT2)	便培養法	腹痛、泥状便	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2017年7月15日	2017年7月20日	2017年7月20日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出 (イムノクロマト法)	発熱、肺炎	塵埃感染	海外渡航歴あり (中国)

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 デング熱)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	20代	2017年7月14日	2017年7月19日	2017年7月19日	デング熱	検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出 血清型：1型	2日以上続く発熱 血小板減少 白血球減少	蚊からの感染	海外渡航歴あり (インド)

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	0～4歳	2017年7月22日	2017年7月22日	2017年7月24日	病原体不明	臨床決定	発熱、痙攣 意識障害	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 後天性免疫不全症候群)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	-	2017年7月20日	2017年7月20日	無症候性キャリア	ELISA法 Western Blot法 HIV抗原検査	-	不明	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
コクサッキーウイルスA6型	咽頭ぬぐい液	東灘	7歳男児 (7/10採取、39.0℃、手足口病)
	咽頭ぬぐい液	西	1歳8ヶ月男児 (7/11採取、38.5℃、手足口病)
	髄液、便 咽頭ぬぐい液	中央	0ヶ月女児 (7/12採取、38.4℃、無菌性髄膜炎)
エコーウイルス3型	咽頭ぬぐい液	垂水	1歳2ヶ月男児 (6/23採取、38℃、手足口病)
ムンプスウイルス	唾液	東灘	6歳2ヶ月男児 (7/10採取、39.0℃、唾液腺腫脹)
デングウイルス1型	血清	西	24歳女性 (7/17採取、39℃、デング熱疑い)、インドへの渡航歴あり。

定点あたりの患者数(人)

(警戒水準)

(終息水準)

2011 year

2014 year

2015 year

2016 year

2017 year

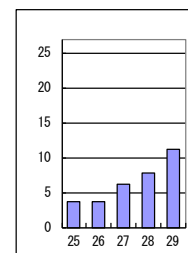
15.0

1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 (週)

1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51

第 29 週 平成29年7月23日

Day	Number of People
25	2
26	8
27	14
28	20
29	12



Day	Number of People
25	8
26	12
27	15
28	26
29	25

Age Group	Number of People
25	5
26	9
27	12
28	19
29	16

Day	Number of People
25	5
26	7
27	16
28	15
29	18

Day	Number of People
25	3
26	2
27	2
28	8
29	8

年齢	人数
25	5
26	7
27	15
28	25
29	13

Age Group	Number of People
25	5
26	6
27	7
28	9
29	4

Age Group	Number of People
25	3
26	6
27	8
28	11
29	18

東灘区

※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

